

# 仙台市ボランティアセンター広報誌

# ぼらせん

BORASEN

vol.20

2023  
Winter

特集

## みちのくYOSAKOIまつりを支える 大学生のボランティア

みちのくYOSAKOIまつり



みちのくYOSAKOIまつりの学生実行委員会(ユース)の皆さん

### 「支え合う、響き合う、ボランティア魂」

さいしどう

「祭始動 ～再び、熱い想いを「杜の都」から～」をテーマに開催された第26回みちのくYOSAKOIまつり。

「民謡で東北おこし」「市民の創造力と独自性で東北おこし」「百万都市・仙台でふるさとPR」の3つの理念を具現化し、東北の地域活性化を目指そうと、今年も盛大に開催されました。その舞台裏では、みちのくYOSAKOIまつりの学生実行委員会(ユース)の皆さんがボランティアとしてイベントの準備や運営を支えていました。



第26回みちのくYOSAKOIまつり

### Contents

#### 特集

- みちのくYOSAKOIまつり  
学生実行委員会 ..... 1-3
- 企業の社会貢献 ..... 4-5  
・東北労働金庫  
・ごみ拾いボランティア交流会
- 子どもの居場所づくり支援 ..... 6  
・東仙台子ども食堂
- ボランティアセンターからのお知らせ ... 7  
・芸能ボランティア団体紹介
- イベントインフォメーション ..... 8

# 特集

みちのく  
YOSAKOIまつり

東北(みちのく)の元気を日本中へ

みちのくYOSAKOIまつり

## 学生実行委員会(ユース)



みちのくYOSAKOIまつり学生実行委員会(ユース)メンバーの皆さん



市民広場



勾当台公園



チームの演舞の様子



広報活動の様子



広報活動の様子

### さいしどう 一 祭始動 再び、熱い想いを「杜の都」から

令和5年10月7日、8日の2日間にわたり「東北(みちのく)はひとつ」を合言葉に、第26回みちのくYOSAKOIまつりが開催されました。今年は市民広場や勾当台公園、定禅寺通りの他、仙台駅前やあすと長町杜の広場公園など、市内7会場で開催され、多くの人で賑わいました。

杜の都の秋の風物詩ともいえるべき、そんな一大イベントを支えていたのが、みちのくYOSAKOIまつり実行委員会の中でもユースと呼ばれる学生実行委員会の皆さんです。仙台市社協とパートナーシップ協約を結んでいる大学を中心に、1年生から4年生まで大学の枠を超えた総勢18名が裏方スタッフとして奮闘しました。

「子どもの頃、ステージで踊ったことがあり、今度は

裏方のボランティアとして参加してみたかった」「友人に誘われてチャレンジしてみようと思った」など、ボランティアに参加した理由はそれぞれですが、今年は5年ぶりの通常開催ということもあり、どの大学生も「地域を元気にしたい」「みんなを笑顔にしたい」という気迫がみなぎっていました。

「幅広い年代の皆さんとつながりを持ちながら、地域を代表する一大イベントに関われたこと、何よりもそれがかけがえのない財産につながった」と声を揃えるユースの皆さん。他大学の学生や市民の皆さんとも交流を深め合うことができたようです。みちのくYOSAKOIまつりの成長に合わせ、人と人、心と心の支え合いは、これからも大きな輪となって地域に広がっていくことでしょう。

# 大学生の VOICE

VOICE 1 東北医科薬科大学 4学年 千葉 芽依さん

第25回のみちのくYOSAKOIまつりにお客さんとして参加したときに、友達が実行委員として頑張っている姿を見て興味を持ったことが活動のきっかけです。初めて経験することばかりで、日々新鮮な気持ちで活動していました。準備期間は不安なことばかりでしたが、当日、観客のあたたかい手拍子や、チームの皆さんの楽しそうな、のびのびとした演舞を見て、関わってよかったと思いました。

VOICE 3 宮城大学 1年 高橋 凜さん

幼い頃にみちのくYOSAKOIまつりで踊った経験がとても楽しく、また機会があれば始めたいと思っていました。大学生になって、先輩がまつりのボランティアをやっていることを知り、私も挑戦することにしました。実際に運営側を経験してみて、「まつりをつくる」ということが、多くの方の協力のもとで成り立っていることを実感しました。本祭当日の感動は今も胸に熱く残っています。これからも仲間と一緒にまつりを盛り上げていきたいです。

VOICE 5 東北学院大学 1年 紺野 楓月さん

昔、部活動でYOSAKOIをやっていたことがあり、大学生になってまたやりたいと思っていました。多くのチームが新規メンバーの募集を終了していた時期に、ボランティアの募集投稿を見て、みちのくYOSAKOIまつりに関われるならと思い参加しました。参加して半年も経たない状況で本番を迎え、不安も多くありましたが、それ以上に当日は楽しかったと感じています。まつりの企画・運営という普通の大学生なら経験しないようなことも経験でき、参加してよかったと思います。

VOICE 7 東北大学 1年 渋谷 真由香さん

参加したきっかけは、曾根先輩に誘ってもらったことです。もともとイベントやまつりの運営に興味があったこともきっかけの一つでした。実際に参加してみて、まつりを開催するまでにたくさんの仕事があり、その積み重ねでまつりが成功するのだとわかりました。大変なこともありますが、みんながまつりを成功させたいという思いを持って頑張っています。当日の演舞を見ると、何ものにも代えがたい達成感がありました。

VOICE 2 宮城大学 3年 下谷 みなみさん

大学1年生のときにSNSで募集を見て、規模の大きなまつりの運営に携わってみたいという思いで始めました。今年はユースの代表になり、これまでとは違った苦労もありましたが、それ以上にまつりをつくりあげた達成感やユースに対する思い入れの大きい一年でした。熱量と思いやりのあるユースのメンバーとともに、励まし合いながら過ごした準備期間は本当に楽しい思い出になりました。

VOICE 4 東北福祉大学 1年 野村 和輝さん

参加したきっかけは、大学の友人に誘われたことです。実際に学生ボランティアとして参加してみると、予想していたよりも忙しく、他のボランティアメンバーについて行くので精一杯でした。そんな中、本祭を迎えてみると参加してくださったチームの皆さんの演舞に感動し、とても充実した時間を過ごすことができました。

VOICE 6 東北学院大学 1年 佐々木 楓さん

別なボランティアをした際、ユースの人に誘われたことがきっかけで加入しました。準備期間からとても充実していて当日は忙しさもありましたが、新しいことを学び、刺激をたくさん受けました。初めてということではわからないことばかりでしたが、楽しく活動することができました。来年はもっと良い動きができるよう頑張りたいと思います。

VOICE 8 東北福祉大学 1年 中鉢 航太さん

もともとボランティア活動などの課外活動に興味があり、入学してすぐに大学のボランティア案内を見て、興味を持ち参加することを決めました。一緒にまつりをつくっていく中で他の大学の学生との交流が深まり、多くの人と一つのまつりをつくり上げていくという達成感もありました。当日演舞を見たときの感動は、僕の人生の1ページとして残ると思います。また来年も参加したいです。

## 東北学院大学4年 曾根 大暉さん(ユース副代表)

年少期にみちのくYOSAKOIまつりに踊り手として出演しており、運営にも携わってみたいと思い参加しました。自分が出ていたまつりに運営という立場に関わることができたのは嬉しかったです。また、人とのつながりをもっと感じることができ、いい経験になりました。今回は副代表という立場で、代表のことをサポートしつつ、学生ボランティア全員に気を配るようにしていました。

ボランティアの魅力は、貴重な経験ができる点です。幅広い年代の人と一緒にこれだけ大きなイベントをつくりあげた経験は、大学生活において貴重な経験となりました。今後は全国のYOSAKOIチームが「みちのく

YOSAKOIまつりに出たい」と思えるようなイベントになってほしいです。みちのくYOSAKOIまつりはボランティアの皆様がいてこそ開催することができます。一緒に感動を与えるイベントをつくっていきましょう。



副代表の曾根さん



地域貢献

## 東北労働金庫

# 大学生ボランティア活動向け助成金制度



▲贈呈式(宮城県)



▲贈呈式(岩手県)



▲贈呈式(福島県)



▲贈呈式(青森県)

人々が喜びをもって共生できる社会の実現を目指している東北労働金庫では、統合20周年を記念して「大学生ボランティア活動向け助成金制度【未来へのタスキ】」を新設しました。2023年度は東北6県の4年制大学に所属する学生から構成されたボランティア活動や、東北労働金庫が定める社会貢献活動等を行う22団体に対し、総額206.5万円の助成を行いました。

「社会貢献の一環として、当金庫ではさまざまな助成金制度を設けています。その様な中、資金がなくてボランティア活動を断念せざるを得ない大学生が多いという話を耳にし、彼らの活動を資金面で応援しようというのが、大学生ボランティア活動向け助成金制度です」と教えてくださったのは、東北労働金庫営業統括部営業支援課の星竜生さんです。

星さんは「ひとくちにボランティア活動といっても、現地までの交通費や宿泊費など、多額のお金がかかります。大学生の負担を少しでも軽くしながら、一緒に東北を元気にしていきたいというのが私たちの想いでもあります」と話します。

大学生ボランティア活動向け助成金制度は、2024年度も実施の予定です。助成金の申込みには書類の申請が必要です。大学生にとっては書類の書き方や申請の仕方など、より実践的な学びにもつながっています。

ボランティア活動のすそ野をさらに広げたいと考える大学の団体・サークルの皆様は、ぜひチャレンジしてみてください。

未来へのタスキをつなげたい

東北労働金庫では、地域を支える大学生の皆さんを応援しています。

## 大学生ボランティア活動向け助成金制度

# 「未来へのタスキ」

パートナーシップ協約締結大学の団体や、本誌で活動を紹介した団体もこの助成金を活用し、これまで以上にボランティア活動や社会貢献活動に励んでいます！

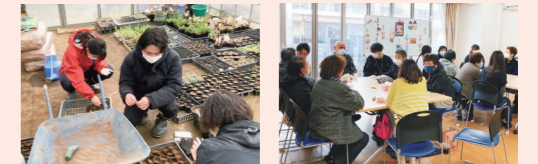
### 宮城県内の助成団体

#### 尚絅学院大学

- 笑顔でつなぐSDGs七夕飾りプロジェクトチーム

#### 東北学院大学

- 東北学院大学 災害ボランティアステーション



#### 東北大学

- ReRoots
- 東北大学SCRUM
- 東北大学 インクストーンズ



#### 東北福祉大学

- ふぁみりあ

#### 宮城学院女子大学

- Heartful Sweets

#### 宮城教育大学

- カンガルー体操クラブ



## ごみ拾いボランティア交流会を開催しました!

令和5年10月21日(土)に第4回ごみ拾いボランティア交流会を開催しました。9事業者14チーム41名が参加し、合計で19.1kgのごみが集まりました。ごみ拾いボランティア交流会の様子は仙台市社協公式YouTubeチャンネルにてご覧いただけます。



#### 参加事業者

(株)NTT東日本一東北、(株)七十七銀行荒町支店、損保ジャパン(株)、(株)東北共立、(株)宮城衛生環境公社、宮城興業(株)、法務省 仙台矯正管区、CGM仙台主信仰協会、(社)福)仙台市社会福祉協議会

せんだい社協チャンネルはこちら ▶

チャンネル登録 ▶

subscribe



# 子どもの居場所づくり

～地域の笑顔があふれる拠点として～

## 東仙台子ども食堂（仙台市宮城野区）



### 「おうちでご飯を」がきっかけでスタート

「お母さんが帰ってくるまで、おうちにひとりである子どもたちを何とかしたい」という思いから、自宅で近所の子もたちを預かり、食事を提供していたという代表の船山由紀子さん。その後、友人らの支援や助成金のおかげで、今から7年ほど前に東仙台子ども食堂をスタートさせました。

活動は毎月第四水曜日。総勢10名余りのスタッフが、チームワークを発揮しながら、腕によりをかけて愛情たっぷりの食事を提供しています。山形県から応援に駆けつけてくれるスタッフも。この日はお弁当のほか、本場・山形のイモ煮もメニューに花を添えていました。以前は市民センターの大広間を借りて、みんなで食事を楽しんでいましたが、現在はすべて手配り。お弁当だけでなく、お米やお菓子、日用品なども配り、皆さん笑顔で心を通わせているのが印象的です。

「食材や日用品を提供して下さる地域の方や企業の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。利用者さんの『ありがとう』という言葉を糧に、これからも長く続けていきたいですね」と船山さん。東仙台子ども食堂は、地域のかげがえのない居場所のひとつとして、これからも笑顔の輪を広げていきます。

### INFORMATION 「東仙台子ども食堂」 に関するお問合せは

E-mail funa1212@joy.ocn.ne.jp

## 仙台市ボランティアセンターからのお知らせ

### 芸能ボランティア団体紹介

仙台市ボランティアセンターでは、芸能関係の特技をお持ちの方々に登録頂き、地域イベントや施設等での芸能ボランティア活動にご協力いただいています。**歌やダンス、楽器の演奏、マジック披露等**、ジャンルは様々。地域のサロンや施設等で芸能ボランティアをご希望の場合は仙台市ボランティアセンターまでご相談ください。

### 「芸能ボランティア登録団体一覧」へのアクセス手順



仙台市社会福祉協議会HP

<http://www.shakyo-sendai.or.jp/n/purpose/purpose5/group>



YouTube

ボランティア団体紹介動画

### 「せんだい社協チャンネル」にて公開中!!

ボランティア団体紹介動画をせんだい社協チャンネルにて公開中!!  
自分の地域や施設に呼びたい団体がみつかるかも!?ぜひご覧ください♪



YouTube動画へはこちらから

[https://www.youtube.com/channel/UCFk5vjU1uPQVU\\_IOSlhOIGQ](https://www.youtube.com/channel/UCFk5vjU1uPQVU_IOSlhOIGQ)



# イベントインフォメーション

## アートカフェ

仙台市内でボランティア活動に取り組んでいる  
仙台市ボランティア連絡協議会の皆さんと一緒に、  
季節の折り紙などのハンドメイド作品を制作しませんか？  
みんなで交流しながら楽しく作り方を覚えて、  
自分の地域で活動してもよし！おうちで楽しんでよし！  
年齢・性別問わずどなたでも大歓迎です。  
ご参加お待ちしております！



参加者  
募集中

日時 1月10日(水) 10:00～15:00  
(お昼休み12:00～13:00)

場所 仙台市福祉プラザ4階 仙台市ボランティアセンター

## 夏のボランティア体験会 受け入れ施設・団体募集

令和6年夏のボランティア体験会の受け入れ施設を募集いたします。  
施設で人と直接触れ合う活動はもちろん、  
オンラインでつながる活動やメッセージカードを届ける活動等、  
非接触型の活動も大歓迎です。

説明会日時 令和6年2月上旬

※詳細は改めてご案内いたします。

お問い合わせ先 夏のボランティア体験会に関するお問い合わせは  
仙台市ボランティアセンターまで。



### 青葉区ボランティアセンター

仙台市青葉区二日町4-3 仙台市役所二日町分庁舎1階 TEL022-265-5260

### 青葉区宮城支部事務所

仙台市青葉区落合4丁目2-22 1階 TEL022-392-7868

### 宮城野区ボランティアセンター

仙台市宮城野区原町3-5-20 メゾン坂下1階 TEL 022-256-3650

### 若林区ボランティアセンター

仙台市若林区保春院前丁3-1 若林区中央市民センター別棟1階 TEL 022-282-7971

### 太白区ボランティアセンター

仙台市太白区長町南3-1-30南部アーチル1階 TEL 022-248-8188

### 泉区ボランティアセンター

仙台市泉区泉中央2丁目24-1(泉地区休日診療所跡) TEL 022-372-2603

※令和5年度は大規模改修工事に伴い仮事務所に移転しています。

▼ 掲載記事に関するお問い合わせは仙台市ボランティアセンターまで ▼



社会福祉法人  
仙台市社会福祉協議会

## 仙台市ボランティアセンター

〒980-0022

仙台市青葉区五橋2丁目12-2 仙台市福祉プラザ4階  
TEL 022-262-7294 FAX 022-216-0140

▼ホームページはこちら

<http://www.shakyo-sendai.or.jp/>

仙台市ボランティアセンター

検索

